

農委だより うじ

第81号

令和8年2月発行

発行：宇治市農業委員会
編集：宇治市農業委員会広報部

うじ Farmers Market

オーガニック野菜、お茶、お花、平飼い卵、日本酒など、約40店舗が出店!



令和7年7月26日午後4時から、お茶と宇治のまち歴史公園(茶づな)にて「うじ Farmers Market」が開催されました。真夏ということもあり、夕方からのナイトマーケットです。会場は、家族連れやカップルで賑わっており、ビールを飲んだり食事を楽しんだり、旬のお野菜やひまわりをお土産に購入される方もいました。

出店者さんからは「来場者さんとのつながりができ、また出店者同士の新たな出会いもあるので、今後もそのつながり・広がりを大切にしていきたい」、茶づなの館長さんからは「今後も継続して、情報交換する場になればいい」と、それぞれの思いを語っていただき、次回開催への期待が高まるイベントでした。(徳田明子)



山城マルシェ



令和7年7月8日午後4時から、JR宇治駅の改札前通路で「山城マルシェ」が開催されました。毎回、山城産の農作物や加工品を農家さんや飲食店、地域の団体が販売されている中、地元宇治の生産者のブースから、「久保田養蜂場」取材しました。



この日は宇治市産の無添加・非加熱のハチミツ「宇治蜜」を販売されていました。季節の花から採れたこだわりのハチミツは評価も高く、「桜」「菜の花」「ヘアリーベッチ」など特定の花の蜜を集めたシリーズや、様々な花の蜜がミックスされた「百花蜜」があります。食べ比べてみたところ、花の蜜によって色や味に違いがあることがはっきりと分かりました。自然な甘さで美味しいです。

このハチミツ、宇治市近辺の飲食店や、お茶と宇治のまち歴史公園（茶づな）でも販売されているほか、宇治市のふるさと納税の返礼品にも選ばれています。

代表の久保田尚宏さんは小倉地域で養蜂場を立ち上げられて4年目。積極的に数々のマルシェへ出店されていて、知名度も上昇中です！！
(今村正喜)

★久保田養蜂場

全て手作業で、非加熱・無添加の「生はちみつ」をお届け

- TEL 0774-66-7416
- オンラインショップ <https://kubotaapiary.base.shop/>

▼ショップQR



▼Instagram





エンジョイ！おおくぼ

令和7年8月3日午後4時から、大久保小学校で開催された「エンジョイ！おおくぼ～なつのゆうべ～」にJA京都やましろ宇治市青壮年部として参加し、宇治茶の試飲会を行いました。

茶農家(ちゃのうか)の1年ってこんな感じ！

- ・4月 お茶の木のおせわ
- ・5月 お茶のしゅうかく(茶つみ)
- ・6月 お茶の木のおせんてい(えだを切る)
田うえ
- ・7月～9月 夏の草ぬき、水やり、お米や野菜のおせわ
- ・10月 お米のしゅうかく(茶園で使うフヲを集める)
- ・11月～ 次の春にそなえてじゅんぴをする！



イベントの開催前、大久保小学校の4階で、展示用に宇治市産の宇治茶や農産物のパネルを用意しました。

開催時間になり、体育館でオープニングセレモニー開始。立命館宇治高等学校によるプラスバンドの演奏や、チアリーディングが披露されました。とても素晴らしかったです！

宇治茶の試飲会は4時半から。まずは抹茶を抹茶茶碗に入れ、少しだけお湯を注いで茶せんで練ります。そうすると、とても鮮やかな濃い緑色のペーストになります。ここからが腕の見せ所！もう少しお湯を足し、ダメにならないように茶せんでかき混ぜていきます…先にしっかり練っておくことで、きめ細やかかつクリーミーな泡立ちのお抹茶の出来上がりです。これを紙コップに分けて参加者に飲んでいただきました。

最初は人が少なかったのですが、いつの間にか行列に！待ち時間も、宇治茶トークをしたり宇治茶を点てる様子を見てもらったりして、宇治茶の魅力や美味しさを伝えながら楽しんでいただきました。



(今村正喜)



取材先の紹介

★うじFarmers Market (1面記事より)

地域の農家さんや飲食店さんと、

商品の魅力やその背景を

永く伝えていける場所

[https://www.instagram.com/](https://www.instagram.com/uji_farmersmarket/)

[uji_farmersmarket/](https://www.instagram.com/uji_farmersmarket/)

▼Instagram



★山城マルシェ (2面記事より)

とれたて作りたて、山城地域の
さまざまな特産品が勢揃い！

▼紹介ページ

(京都府HP内)

[https://www.pref.kyoto.jp/](https://www.pref.kyoto.jp/yamashiro/no-kikaku/yamashiroplatform.html)

[yamashiro/no-kikaku/](https://www.pref.kyoto.jp/yamashiro/no-kikaku/yamashiroplatform.html)

[yamashiroplatform.html](https://www.pref.kyoto.jp/yamashiro/no-kikaku/yamashiroplatform.html)



農地の貸し借りのご相談は、農業委員会事務局まで



お茶農家の次男として生まれ、現在 32 歳。
ご家族で約 1.3ha を経営されており、重機を操っ
ての地盤改良、土の入れ替え等は主に瑞希さんが担
当されています。

一人で黙々と作業すること、ゲームで遊ぶことが
好きで、休日はのんびり過ごしたいと話す瑞希さん。

将来は「一人の宇治茶農家として立てるようにな
りたい」と、意欲たっぷりに語っていただきました。

Q1. 就農したきっかけは？

中学生の頃から手伝いをしており、繁忙期である 5 月の
茶摘みは、部活を休んで家業に勤しんだこともあります。
病気で退職した後、身体を動かしながら少しずつ農業に関
わり、現在は本格的に営農しています。今は通院を続けな
がらも、体調はかなり回復しています。

Q2. 農業の魅力ややりがいは？

「良くも悪くも自分次第」なところ。作業の順番や注力具合、
茶の芽の確認、それらの情報からどの薬を使うか、悪天候
時には何をするか、いつ身体を休めるか……手を抜くこと
はできませんが、それもちゃんと結果に返ってきます。

Q3. 苦労していることは？

生活リズムが整っておらず、朝に弱いことです。

知識も足りないので学ぶ事は多いと感じています。害虫
対策や薬剤散布など、まだまだ勉強中です。今年は特に暑
さが厳しかったので、圃場へ足を運ぶ機会が減り、かなり
害虫を発生させてしまいました。

Q4. お茶を栽培する上でのこだわりは？

茶摘みをしてくださる摘み子さんとは、よくコミュニケー
ションを取っています。



取材しての 感想

多田さんは、五ヶ庄の茶農家の後継者として、ご両親と共に高品質のてん茶作りに励んでおられます。
お茶摘みさんをとても大切に思われている、心優しい好青年でした。体調管理には十分気を付けて、ご無理
のない範囲で日々の農作業を楽しく続けてくださることを願っています。
(小島佳剛)



農業委員・農地利用最適化推進委員を募集します

概要は折り込みのリーフレットをご覧ください。

